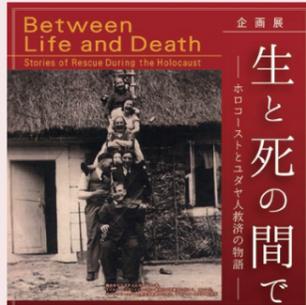


企画展情報

生と死の間で ～ホロコーストとユダヤ人救済の物語～

第二次世界大戦中、ナチス・ドイツの迫害で多くのユダヤ人が犠牲になりました。その中でも、危険を冒してユダヤ人に手を差し伸べた人々、そのおかげで生き残ることができたユダヤ人がいます。この企画展では、ヨーロッパの12の国々におけるユダヤ人救済の物語をご紹介します。



◆展示期間

11月3日(水) ▶▶▶ 令和4年1月31日(月)

ニコラス・ウィントンと669人の子どもたち

“イギリスのシンドラ”と呼ばれ、ノーベル平和賞候補にもたびたび名を挙げられた愛と勇気の人・ニコラス・ウィントンの驚くべき活動の足跡と、彼に救われた人々の人生を辿り、子どもたちの命を救うことの大切さを世界に伝える感動のドキュメンタリー映画です。



©TRIGON PRODUCTION s.r.o. W.J.P.s.r.o. J & T Finance Group, a.s. CZECH TELEVISION SLOVAK TELEVISION 2011

◆上映情報

11月23日(火) ①10:00～ ②13:00～ ③15:00～
定員各回35人 (事前申込制)

利用案内

- ▶開館時間 9時～17時 (入館は16時30分まで)
令和3年度については、金土日祝は19時まで営業
- ▶休館日 水曜日 (祝日の場合はその翌日) ・年末年始
- ▶入館料 一般500円、小学生以下300円
※20人以上団体割引あり
※4歳未満の方、障がいのある方と介護者1人は無料
※11月13日、14日は関西文化の日につき、無料開放
- ▶駐車場 金ヶ崎緑地駐車場 (普通128台、大型5台)
- ▶所在地 金ヶ崎町23-1
- ▶問合せ先 人道の港敦賀ムゼウム ☎37-1035
敦賀市人道の港発信室 ☎22-8129

研修室の貸館利用について

人道の港敦賀ムゼウムの研修室を有料で貸出しています。利用申し込みについては、ムゼウムへお問い合わせください。



人道の港敦賀ムゼウムは リニューアルオープン1周年を迎えました

「人道の港」のエピソード

敦賀港の歴史、ポーランド孤児とユダヤ難民の受け入れについて、アニメーション、資料展示や映像を組み合わせて分かりやすくご紹介しています。入館後一番最初にあるシアターで、ムゼウムの展示内容について映像でご紹介。

を紹介しています。日本が孤児を救済するきっかけとなった嘆願書や、孤児が日本滞在中のことを書き綴った日記もご覧いただけます。ユダヤ難民のコーナーでは「命のビザ」などのデジタル資料が充実し、複数人のビザを見比べていただくこともできます。2階の交流コーナーでは、敦賀に上陸した人々とのその後の交流の様子について、ご覧いただけます。交流が進むほど、展示が充実するコーナーです。

若い世代による発信

この「人道の港」のエピソードを皆さんにより身近に感じてもらうと、地元の学生がムゼウムのガイド活動を行っています。



敦賀高校探究部
社会部門 (創生部)
部長 中川 皓耀 さん



敦賀高校創生部は、部員約30人で「地方創生」と「敦賀をすみやすくすること」を活動方針に活動を行っています。

ムゼウムのガイドを始めるきっかけは、コロナ禍における差別を目の当たりにしたことでした。同じように迫害されていたポーランド孤児とユダヤ難民に日本人が手を差し伸べ、命を救ったエピソードから学ぶことは多いと思いました。そこで、伝える側に回ってみようと考えました。

ガイドを始めるに当たり、研修会を受講したり、模擬練習を重ねたりしました。

今では子どもに対しては、大人向けの資料をかみ砕いて、人形劇やクイズなどを交えるなど、相手に応じた対応ができるようになり、手応えを感じています。

敦賀が誇るエピソードを次の世代の人たちに伝えていき、敦賀がよりよくなるための行動を考えるきっかけになればと思います。